2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月10日

上 場 会 社 名	株式会社ヴィス	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	5071	URL	https://vis-produce.com/
代　　表　　者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）金谷　智浩	
問合せ先責任者	（役職名）常務取締役コーポレートDiv.長	（氏名）矢原　裕一郎	（TEL）06-6457-6788
半期報告書提出予定日	2026年11月10日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	7,520	9.4	519	△19.4	531	△17.5	343	△17.1
2026年３月期中間期	6,874	△13.8	644	△34.0	644	△33.6	414	△35.3

（注）包括利益 2027年３月期中間期　343百万円（△17.0%）　2026年３月期中間期　413百万円（△35.5%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	40.65	40.60
2026年３月期中間期	49.53	49.14

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	11,655	7,869	67.5
2026年３月期	12,512	7,934	63.3

（参考）自己資本 2027年３月期中間期　7,869百万円　2026年３月期　7,923百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	49.00	49.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	59.00	59.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,397	11.6	1,951	0.5	1,938	0.7	1,239	△9.5	146.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料Ｐ９「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご参照ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	8,448,800株	2026年３月期	8,435,050株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	123株	2026年３月期	123株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	8,440,224株	2026年３月期中間期	8,358,095株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ３「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9
（セグメント情報等） ……10
（重要な後発事象） ……11

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、景気は緩やかな回復基調を維持しているものの、米国の関税政策の動向や、ウクライナや中東の不安定な国際情勢の長期化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、2025年６月に策定した中期経営計画（VISION2027）の２年目にあたり、オフィスデザインからワークデザイン（働く環境や働き方のデザイン）へと事業領域拡大を目指し、各重点施策を実行しております。

当社グループにおきましては、成長企業や働き方の見直しに積極的な企業を中心に営業活動を行い、ワークデザインに関連するサービスをワンストップで提供することにより、企業価値の向上や働く人々のエンゲージメントの向上に貢献してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における経営成績は、売上高7,520百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益519百万円（同19.4%減）、経常利益531百万円（同17.5%減）、親会社株主に帰属する中間純利益343百万円（同17.1%減）となりました。

各セグメントの経営成績の状況は、次のとおりであります。

① ブランディング事業

ブランディング事業では、オフィスデザイン・ウェブデザイン・グラフィックデザインをワンストップで提供しており、多様なマーケティング手法により新規顧客の獲得及び既存顧客へのフォローを継続して行ったことで、高成長企業を中心に受注獲得を行ってまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は7,216百万円（前年同期比8.2%増）、セグメント利益（営業利益）は615百万円（同15.2%減）となりました。

② データソリューション・プレイスソリューション事業

データソリューション・プレイスソリューション事業では、ワークプレイス構築DXツール「ワークデザインプラットフォーム」や組織改善サーベイ「ココエル」を提供しております。2026年４月からは、ワークプレイスで生まれる体験をデザインすることで組織文化を育てるエクスペリエンスデザインの提供を開始しております。

また、東名阪エリアにおいて、フレキシブルオフィス「The Place」の運営を行っております。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は304百万円（前年同期比47.6%増）、セグメント損失（営業損失）は27百万円（前年同期は14百万円のセグメント損失（営業損失））となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して856百万円減少し、11,655百万円となりました。

流動資産は796百万円減少し、8,188百万円となりました。これは主に現金及び預金で275百万円増加した一方で、売掛金で857百万円、仕掛品で170百万円減少したことによるものであります。

固定資産は60百万円減少し、3,466百万円となりました。これは主に工具、器具及び備品で21百万円増加した一方で、建物及び構築物で56百万円、投資有価証券で16百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して791百万円減少し、3,786百万円となりました。

流動負債は783百万円減少し、3,492百万円となりました。これは主に未払金で20百万円、未払法人税等で15百万円、未払消費税等で23百万円、前受金で159百万円、賞与引当金で58百万円増加した一方で、買掛金で928百万円、未払費用で135百万円減少したことによるものであります。

固定負債は７百万円減少し、293百万円となりました。これは主にその他に計上している長期預り保証金で７百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して65百万円減少し、7,869百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益343百万円を計上した一方で、配当金413百万円を支払ったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月13日に公表いたしました内容から変更はございません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,754,424	7,030,170
売掛金	1,769,836	912,779
仕掛品	327,416	156,492
前払費用	84,725	83,070
未収入金	5,257	2,777
その他	43,900	3,639
流動資産合計	8,985,560	8,188,930
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,143,924	1,087,461
工具、器具及び備品（純額）	121,599	143,502
土地	1,155,537	1,155,537
リース資産（純額）	5,333	4,693
有形固定資産合計	2,426,394	2,391,195
無形固定資産		
ソフトウエア	46,939	44,475
その他	76	76
無形固定資産合計	47,015	44,551
投資その他の資産		
投資有価証券	411,431	394,648
敷金及び保証金	372,300	367,998
繰延税金資産	214,663	215,378
その他	55,022	52,763
投資その他の資産合計	1,053,418	1,030,789
固定資産合計	3,526,828	3,466,536
資産合計	12,512,389	11,655,466

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,103,302	1,174,598
未払金	61,833	82,085
未払費用	495,726	359,763
未払法人税等	192,967	208,738
未払消費税等	46,873	70,859
前受金	1,302,365	1,462,240
リース債務	1,365	1,384
預り金	23,861	29,413
賞与引当金	44,277	102,941
役員賞与引当金	3,663	－
その他	－	542
流動負債合計	4,276,236	3,492,568
固定負債		
リース債務	4,835	4,138
資産除去債務	267,120	268,071
その他	29,249	21,262
固定負債合計	301,205	293,472
負債合計	4,577,441	3,786,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	565,059	573,247
資本剰余金	539,916	548,090
利益剰余金	6,815,984	6,745,803
自己株式	△126	△126
株主資本合計	7,920,833	7,867,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,209	2,410
その他の包括利益累計額合計	2,209	2,410
株式引受権	11,904	－
純資産合計	7,934,947	7,869,425
負債純資産合計	12,512,389	11,655,466

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	6,874,829	7,520,858
売上原価	4,896,806	5,522,688
売上総利益	1,978,022	1,998,170
販売費及び一般管理費	1,333,430	1,478,377
営業利益	644,592	519,792
営業外収益		
受取利息	8,481	15,752
受取賃貸料	1,335	2,072
その他	404	617
営業外収益合計	10,221	18,442
営業外費用		
支払利息	32	82
固定資産除却損	914	16
投資事業組合運用損	6,342	3,778
賃貸費用	3,024	2,949
その他	140	69
営業外費用合計	10,454	6,895
経常利益	644,359	531,339
特別利益		
固定資産売却益	12,357	－
特別利益合計	12,357	－
税金等調整前中間純利益	656,717	531,339
法人税等	242,712	188,209
中間純利益	414,004	343,130
非支配株主に帰属する中間純利益	－	－
親会社株主に帰属する中間純利益	414,004	343,130

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	414,004	343,130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△443	201
その他の包括利益合計	△443	201
中間包括利益	413,560	343,331
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	413,560	343,331
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	656,717	531,339
減価償却費	70,680	83,986
賞与引当金の増減額（△は減少）	△15,094	58,664
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△6,144	△3,663
株式報酬費用	－	4,202
受取利息及び受取配当金	△8,481	△15,752
支払利息	32	82
固定資産除却損	914	16
投資事業組合運用損益（△は益）	6,342	3,778
固定資産売却損益（△は益）	△12,357	－
売上債権の増減額（△は増加）	339,497	857,056
棚卸資産の増減額（△は増加）	△14,126	173,220
前払費用の増減額（△は増加）	△4,385	1,655
仕入債務の増減額（△は減少）	△758,320	△928,703
未払金の増減額（△は減少）	16,159	△14,786
未払費用の増減額（△は減少）	△359,481	△135,962
未払消費税等の増減額（△は減少）	△158,249	23,986
未払法人税等（外形標準課税）の増減額（△は減少）	△3,628	△6,218
前受金の増減額（△は減少）	883,261	159,875
その他	△11,670	44,083
小計	621,664	836,860
利息及び配当金の受取額	8,472	15,740
利息の支払額	△32	△82
法人税等の支払額	△366,733	△167,027
営業活動によるキャッシュ・フロー	263,371	685,491
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△157,256	△3,314
有形固定資産の売却による収入	15,293	－
無形固定資産の取得による支出	△11,123	△6,327
投資有価証券の取得による支出	△75,000	△10,000
投資事業組合からの分配による収入	297	23,842
敷金及び保証金の回収による収入	120	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△227,669	4,200
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	841	255
配当金の支払額	△409,232	△413,311
リース債務の返済による支出	△220	△889
財務活動によるキャッシュ・フロー	△408,611	△413,945
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△372,909	275,746
現金及び現金同等物の期首残高	5,971,871	6,604,424
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,598,962	6,880,170

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	ブランディング事業	データソリューション・プレイスソリューション事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,668,374	206,454	6,874,829	－	6,874,829
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	101,297	101,297	△101,297	－
計	6,668,374	307,752	6,976,127	△101,297	6,874,829
セグメント利益又は損失(△)	725,566	△14,358	711,207	△66,615	644,592

（注）１．セグメント利益の調整額△66,615千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	ブランディング事業	データソリューション・プレイスソリューション事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,216,233	304,625	7,520,858	－	7,520,858
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	98,441	98,441	△98,441	－
計	7,216,233	403,067	7,619,300	△98,441	7,520,858
セグメント利益又は損失(△)	615,072	△27,254	587,817	△68,024	519,792

（注）１．セグメント利益の調整額△68,024千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

（取得による企業結合）

当社は、2026年９月14日開催の取締役会において、パドルデザインカンパニー株式会社の株式を取得して子会社化することを決議しました。また、2026年11月２日付で株式を取得したことにより子会社化しました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称　　パドルデザインカンパニー株式会社

事業の内容　　ブランディング（MI/VI/CI開発）、Web製作、映像制作、グラフィック、コピーライティング、プロモーション、運用保守

② 企業結合を行った主な理由

当社グループは、「はたらく人々を幸せに。」というパーパス（存在意義）のもと、働く環境や働き方を総合的にデザインする「ワークデザイン」を事業の核に据えております。

このたび子会社化するパドルデザインカンパニー株式会社（以下「同社」という。）は、企業のブランド価値を言語化・視覚化するブランディング及びクリエイティブ・コンサルティング分野において、極めて高い専門性と実績を有しております。

本件株式取得により、同社が有する戦略立案・クリエイティブ能力を当社グループ内に取り込むことで、一気通貫の提供価値の向上と競争優位性の確立や顧客接点の拡大とLTV（顧客生涯価値）の向上、人的資本の拡充によるクリエイティブ体制の強化において、シナジーの創出を図ります。

③ 企業結合日

2026年11月２日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得した議決権の比率

100％

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものです。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	175,000千円
取得原価		175,000千円

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザリーに対する報酬・手数料等（概算値）　43,000千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその内訳

現時点では確定しておりません。